

会員各位

2011年7月31日
日本哲学会事務局

会員連絡

I 今年度大会

2011年5月14日(土)、15日(日)の両日、本学会第63回総会及び第70回大会が東京大学本郷キャンパスにおいて開催され、参加者は延べ約800名で盛況でした。

総会における報告及び議決事項は下記の通りです(敬称略)。

議長挨拶	一ノ瀬正樹
会長挨拶	高山 守
一般報告	大橋容一郎
国際交流活動報告	座小田 豊
前年度決算報告	榊原哲也
会計監査報告	高橋久一郎
本年度予算案審議	榊原哲也
編集委員会報告	金山弥平
林氏遺贈金基金	加藤泰史
若手奨励賞表彰式	受賞者 中野裕考

「直観受容と自発性 ―カント理論哲学に関する一考察―」

① 一般報告

2010年度日本哲学会事業報告を、既に配布した報告の記載通りに承認しました。

② 会計報告

2010年度日本哲学会会計報告を、既に配布した報告の記載通りに承認しました。

2011年度日本哲学会予算を、既に配布した報告の記載通りに承認しました。

II 新役員組織 (以下敬称略、()内は得票数)

① 評議員48名

郵送による投票により、選挙を行いました。その結果に基づき、次の方々に評議員を依頼し承諾を得ました。投票者総数は213名でした。

(開票立会人は、杉田孝夫、三浦謙、中野裕考)

高山 守(80)、野家啓一(74)、一ノ瀬正樹(65)、伊藤邦武(60)、高田 純(58)、飯田 隆(56)
鷺田清一(48)、加藤泰史(43)、座小田豊(42)、種村完司(40)、入江幸男(39)、神崎 繁(39)
清水哲郎(39)、伊勢俊彦(38)、尾関周二(38)、竹内章郎(38)、榊原哲也(37)、中畑正志(35)
新田孝彦(35)、木村 博(34)、小池直人(34)、石井 潔(33)、納富信留(33)、小林道夫(32)
牧野英二(32)、山内廣隆(32)、渡辺憲正(32)、大橋容一郎(31)、工藤和男(31)、戸田山和久(31)
水野邦彦(31)、石崎嘉彦(30)、牧野広義(30)、上野 修(29)、川本隆史(29)、金山弥平(28)
鈴木 泉(26)、野矢茂樹(24)、山内志朗(21)、酒井 潔(20)、円谷裕二(20)、水谷雅彦(20)
村田純一(20)、森 一郎(18)、信原幸弘(18)、出口康夫(18)、服部裕幸(18)、伊勢田哲治(18)

② 理事16名

選ばれた評議員の中で理事の選出を行いました。その結果に基づき、次の方々に理事を依頼し承諾を得ました。投票者総数は43名でした。

野家啓一(36)、飯田 隆(29)、伊藤邦武(28)、高山 守(28)、一ノ瀬正樹(26)、中畑正志(26)
金山弥平(23)、座小田 豊(23)、清水哲郎(23)、加藤泰史(22)、鷺田清一(21)、納富信留(20)
山内廣隆(19)、神崎 繁(17)、高田 純(17)、牧野英二(17)

※6月11日に開催された第一回理事会において、会長は飯田隆理事に決定しました。

③ 推薦理事4名

第一回理事会において、推薦理事としての推薦が行われ、次の方々に推薦理事を依頼し、承諾を得ました。

入江幸男、種村完司、円谷裕二、新田孝彦

④ 会計監査2名

郵送による投票により、選挙を行いました。その結果に基づき、次の方々に会計監査を依頼し承諾を得ました。投票者総数は43名でした。

酒井 潔(9)、鈴木 泉(7)

⑤ **推薦評議員4名**

第二回理事会において、推薦評議員としての推薦が行われ、次の方々に推薦評議員を依頼し、承諾を得ました。

和泉ちえ、岡部由紀子、岡本由起子、金井淑子

⑥ **編集委員36名**

第一回理事会において次の会員に編集委員を委嘱しました。

<2期目>

石川求、伊豆蔵好美、和泉ちえ、伊勢俊彦、伊勢田哲治、
上野修、金井淑子、工藤和男、久保田顕二、河野哲也、篠澤和久、
杉山直樹、直江清隆、檜垣良成、舟場保之、水谷雅彦、吉永和加

<1期目>

加藤泰史、秋元ひろと、麻生博之、井上克人、植村恒一郎、岡本裕一朗、
奥田和夫、香川知晶、清塚邦彦、久保陽一、品川哲彦、中山康雄、
朴一功、平井靖史、古荘真敬、宮原勇、山崎裕子、山崎広光、
山本芳久

※6月11日に開催された第一回理事会において、加藤泰史理事が編集委員長に就任することが決定し、7月9日に開催された第一回編集委員会において、その旨が了承されました。

⑦ **事務局長および事務局幹事**

事務局校の三浦謙が事務局長に、また杉田孝夫、中野裕考が事務局幹事に就任することが決定しました。

※なお7月9日に開催された第二回理事会において、日本哲学会規則第十二条に基づき、三浦謙事務局長が理事に加わることになりました。

III **来年度大会**

- ① 開催場所 大阪大学 豊中キャンパス
- ② 日時 2012年5月12日(土)・13日(日)の予定
(なお大会前日11日(金)夕方にワークショップが行われます。)
- ③ 来年度大会のシンポジウム、共同討議のテーマ並びに発表者が、以下のように決まりました(敬称略)。この他、大会において、日本哲学会第64回総会、ならびに会員からの応募による一般研究発表、哲学教育のワークショップが予定されています。

5月11日(金) 大会前日夕方

ワークショップ「小中学校における哲学教育と教員養成(仮題)」

5月12日(土) 第1日

シンポジウム「現代を生きる身体」

提題者 ①和泉ちえ
②鈴木 泉
③鷺田清一

司会 清水哲郎
竹内章郎

5月13日(日) 第2日

共同討議 I「ルソー誕生300年(ルソーを見直す)」

提題者 ①ジェレマイア・オルバーグ
②吉永和加

司会 小林道夫

共同討議 II「必然性・偶然性・自由」

提題者 ①伊藤春樹
②檜垣立哉

司会 美濃 正

④ 一般研究発表について

一般研究発表用原稿を公募いたします。詳細については学会ホームページをご覧ください。

応募締切： 2011年11月 11日(金) ファイル当日必着、印刷物は当日消印有効

IV 第3回日中哲学フォーラム

来る11月19(土)、20(日)日の両日、日本哲学会と中国社会科学院哲学研究所の共催で、第3回日中哲学フォーラムが慶應義塾大学日吉キャンパス(来往舎2階大・中・小会議室)にて開催されます。「日中の哲学者は現代と世界をどう捉えるか」と題して、三つの分科会に分かれ、日本側13名、中国側11名の研究者が報告を行い議論を戦わせます。言語は日本語と中国語を使用して行われますが、中国側から通訳が参加しますので、基本的に日本語で議論することができます。詳しいプログラムは、でき次第日本哲学会のホームページにアップいたします。会員皆様方ふるってのご参加をおまちいたします。

V 林基金

<設立の経緯>

2010年6月、故林繁夫氏から遺言により日本哲学会に2000万円が遺贈され、日本哲学会林基金が設立されました。使途・運営については、2010年度委員会において検討がなされ、2011年5月第63回総会において、以下の方針が了承されました。

<運営方針>

1 使途全体について

(1)「林基金若手研究者研究助成」を創設し、原則として現行の若手研究者奨励賞候補者全員に対して研究助成を行う。ただし、上記候補者の中で助成水準に達していない、ないし研究計画に不備があると判断された者に関しては、助成対象に含めない。研究費は一人10万円とする。

* 現行の若手研究者奨励賞はそのまま維持される。

(2)「林基金出版助成」を創設する。助成対象者は年に1名までとする。助成金は50万円とする。

2 林基金運営委員会について

林基金を運営するために、「林基金運営委員会」を設置し、「林基金運営規定」を策定する。

VI 公募論文

日本哲学会は機関誌『哲学』に掲載する論文を募集しております。論文を投稿しようとする会員の方は学会ホームページに記載されている要領で応募して下さい。

VII その他

① 会費納入のお願い

会費を未納の方は至急お納め下さい。今年度会費(6,000円)を含めたご請求額は封筒の宛名ラベルの右下に表示してあります。同封の振込用紙にて振込をお願いいたします。なお請求額は2011年7月17日現在の資料に基づいております。行き違いの節はご容赦下さい。領収書は郵便振替の払込書をもってかえさせていただきます。

② 会員資格について

近年連絡先不明の長期会費未納会員の方が多く、日本哲学会の運営および財政上不都合が生じております。日本哲学会では、2008年度より会費未納猶予期間を短縮し、4年以上会費未納の会員は日本哲学会会員資格を停止するものとし、学会誌『哲学』等の発送も停止しております。4年目の会費年度中に会費を納入していただけない場合は、会員資格が停止されますのでご注意ください。なお、会員資格を停止された方が資格の復活を希望される場合は、会費未納期間分の会費24,000円分(6,000円×4年分)の支払いを条件といたします。

③ 事務局移転のお知らせ

当事務局は、東京大学からお茶の水女子大学へ移転いたしました。

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学本館302 杉田孝夫研究室内

e-mail : nittetu@philosophy-japan.org

なお、事務局員は常駐しておりませんので、事務局へのお問い合わせやご連絡は郵便またはEメールでお願いいたします。

以 上